ボランティア活動報告書の利活用に向けて

（高校・大学　進学・就職担当）

公益財団法人
さわやか福祉財団

「学生の地域活動研究会」委員の紹介

学生の地域活動研究会において「ボランティア活動報告書」及び「総括ボランティア報告書」に関し学術的、実務的な立場からご助言をいただいた委員の方々をご紹介いたします。

委員一覧

昭和女子大学総合教育センター特任教授 日本ボランティア学習協会代表	こうろき　ひろし 興梠　寛　氏
「エクセレントNPO」をめざそう市民会議共同代表 一般社団法人TAKUMI-Art du Japon 理事	しまだ　きょうこ 島田　京子　氏
元 文教大学教育学部教授	しまの　みちひろ 嶋野　道弘　氏
日本女子大学人間社会学部教育学科教授	たなか　まさふみ 田中　雅文　氏
國學院大學人間開発学部初等教育学科教授	たむら　まなぶ 田村　学　氏
公益財団法人学習情報研究センター理事長	つじむら　てつお 辻村　哲夫　氏
学習院大学文学部教育学科教授 日本ボランティア学習協会理事	ながぬま　ゆたか 長沼　豊　氏
上智大学総合人間科学部教育学科教授	なす　まさひろ 奈須　正裕　氏
公益財団法人さわやか福祉財団会長 学生の地域活動研究会司会・進行役	ほった　つとむ 堀田　力
公益財団法人さわやか福祉財団理事長	しみず　けいこ 清水　肇子

高校･大学の進学･就職担当のみなさまへ

卒後を見据えた生徒・学生への進学・就職指導の際には、各学校のご担当様が格段の配慮と創意工夫をなされていることと存じます。その際の一助となるよう当財団で開発した生徒・学生の特性を進学・就職先へアピールすることができるツールとして「総括ボランティア活動報告書」を紹介させていただきます。

当財団では、生徒や学生の一人ひとりが主体的に自らの強みとなる特性を育てることにより、充実感に満ちた人生を送ってほしいと願っています。そのためには、地域等のボランティア活動に積極的に参加し、社会課題を理解し、関係者とも協働してその解決のために努力する体験をする中で、社会に有用な自己の特性を確認し、それを伸ばしていくことが大切になります。その際に、当財団が開発した「ボランティア活動報告書」への活動記録と振り返りが大いに役立つと考えています。

この「ボランティア活動報告書」を総括して記載した「総括ボランティア活動報告書」は、生徒・学生本人が、大学入試や就職活動の際に自己の特性を具体的に、進学・就職希望先へ伝え、それを活かしてくれる進学先への合格や、就職先の採用に役立つと共に、将来的に自分の特性が活きる職場への配属へとつなげていくための資料として活用されることを想定しています。

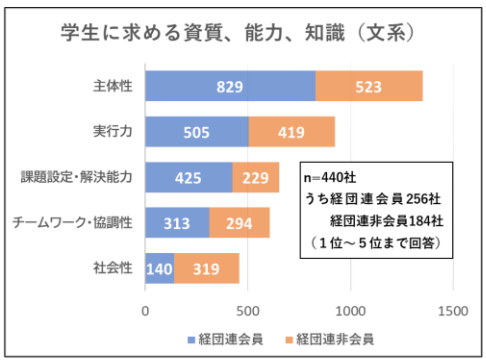
指導者のみなさまには、生徒・学生の進学・就職指導の際に役立つ資料として、積極的な利活用をお願いいたします。

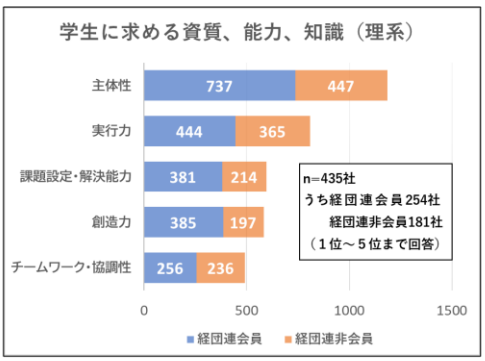
さわやか福祉財団
会長　　堀田　力

これからの社会に求められる力とは

2018年度に一般社団法人日本経済団体連合会が示した「高等教育に関するアンケート結果」から、企業は学生に「自らの問題意識に基づき課題を設定し、主体的に解を作り出す能力」を求めていることが分かりました。具体的には「主体性」、「実行力」、「課題設定・解決能力」、「チームワーク・協調性」の項目が重視されています。当財団ではこれを受け、これからの持続可能な日本社会を支える人材に必要な力を「自発性・主体性」、「実行力・責任感」、「課題解決・創造力」、「チームワーク・協調性」、「リーダーシップ」の５つの特性に分類し、この特性を効果的に育む場としてボランティア活動を推奨しています。

５つの特性については、「ボランティア活動報告書」を活用した活動の振り返りの中で、生徒・学生自身の評価とボランティア活動関係者（本人と直接関わったボランティア活動の受益者またはボランティア団体の統率者）の評価を合わせることで、特性に対する意識を高め、自分の強みを活かしたキャリアプランニングへとつなげていきます。





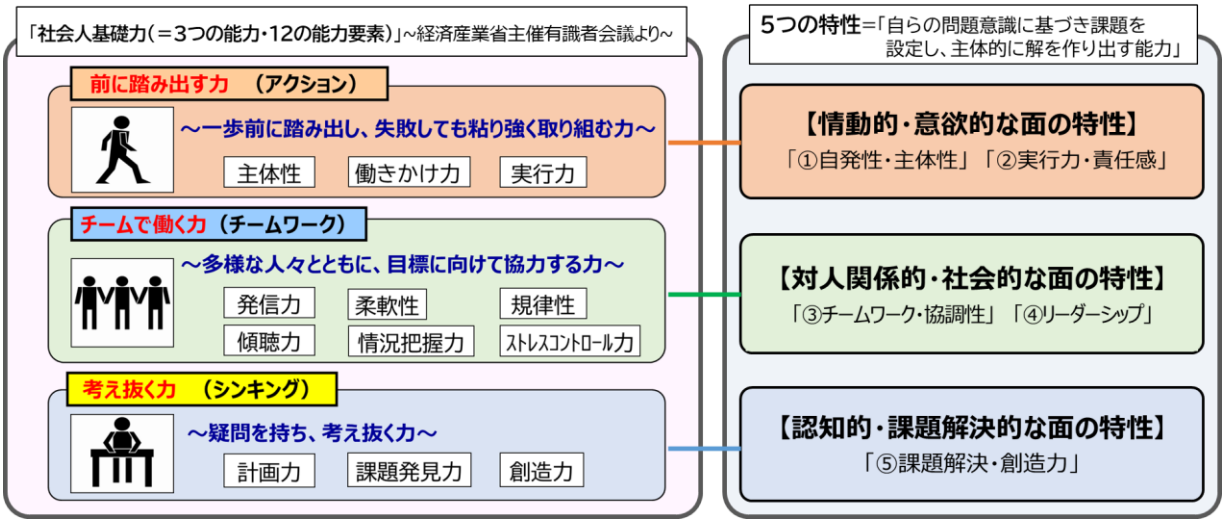
＊回答企業に上位５つの選択肢を選んでもらい、点数による重み付け（1位＝5点、2位＝4点、3位＝3点、4位＝2点、5位＝1点）を行ったもの。全２０項目の中からトップ５を抽出。

【2018年４月17日 一般社団法人 日本経済団体連合会『「高等教育に関するアンケート」主要結果』から編集】

「社会人基礎力」と「5つの特性」の相関

５つの特性は経済産業省主催有識者会議で定義された「社会人基礎力」に通じるものであり、高校生・大学生及び、企業人材にとって獲得が望まれる特性であると言えます。当財団が高校生と大学生対象に開発した「ボランティア活動報告書の手引き（高校生・大学生用）」には、高校生と大学生が明確に特性を意識できるように、各特性について《具体的な姿の例》を示す工夫をしています。つまり、「ボランティア活動報告書」には、高校生と大学生がボランティア活動をする都度、本人及び活動関係者（活動の受益者又は活動を現地で統率する人）が活動によって育ったと思われる特性にマークをつけることとしています。特性への自他の評価をとおして自己理解を深め、社会に通用する特性を育てるためです。

【「社会人基礎力」と「5つの特性」との相関図】



【「5つの特性」の具体的な姿例】

【情動的・意欲的な面の特性】
「①　自発性・主体性」
・自分の長所や短所を把握して、良いところを活かして活動に取り組もうとしている。 ・不得意なことでも、自ら進んで取り組もうとする。
「②　実行力・責任感」
・自分がすべきことがある時に、喜怒哀楽の感情に流されず行動を適切に律し、遂行している。 ・困難な状況にも根気よく向かい、試行錯誤をしながら活動に取り組もうとしている。
【対人関係的・社会的な面の特性】
「③　チームワーク・協調性」
・ボランティア活動に関わる人々の意見を聞くとき、相手の立場を考慮して、その人の考えや気持ちを受け止めようとしている。 ・人と何かをするとき、自分がどのような役割や仕事を果たすべきか考え、分担しながら、力を合わせて行動しようとしている。
「④　リーダーシップ」
・自分の考えや気持ちを整理し、相手が理解しやすいよう工夫して、伝えようとしている。
【認知的・課題解決的な面の特性】
「⑤課題解決・創造力」
・調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を収集し、信ぴょう性が高く、かつ、必要な情報を取捨選択しながら活用できる。 ・何か問題が起こった時、次に同じような問題が起こらないようにするために、原因を調べ、課題を発見し、解決のための工夫ができる。 ・何かをする時、見通しをもって計画し、適宜提案を行い、評価・改善を加えながら行動ができる。

文部科学省：「キャリア・パスポート」例示資料等を参考に作成

「統括ボランティア活動報告書」作成補助への依頼

「総括ボランティア活動報告書」について、ご所属の生徒・学生が報告書を持参した際に、作成補助とご指導をお願いいたします。当財団が開発した「総括ボランティア活動報告書」の特徴は以下のとおりになります。

1　「総括ボランティア活動報告書」は、高校生・大学生が「入学を希望する大学」又は「就職を希望する企業」などに自己PR書類等として提出する際に作成します。

2 「総括ボランティア活動報告書」には、生徒・学生本人が今までに作成した個々の「ボランティア活動報告書」をもとに、その結果を自身で記入し、まとめます。
　まとめる期間は大学生であれば大学在籍期間、高校生であれば高校在籍期間程度と想定します。

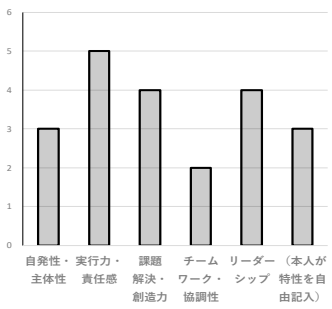
3　「多い活動分野」の欄には、今までの活動を振り返り、関わった活動分野の上位３位の件数を①~③の欄に記入します。

【多い分野の記入例】
①　高齢者のサポート（５件）　②　動物の保護（３件）　③　環境保護（２件）

4　「活動関係者がマークした特性」欄には、今まで作成したボランティア活動報告書の記録を見て、〇のついた数を入力します。
※　本人が特性を自由記入できる欄については例文による５つの特性以外に、活動をとおして育った特筆すべき特性があった場合に、その特性を記入します。特にない場合は空欄の箇所になります。

5　「活動関係者がマークした特性」欄に入力した数値を基に、累計数グラフが自動生成されます。

6　「本人のコメント」欄には、生成された累計数グラフを基に、自己の特性について掘り下げを行い、今後その特性をどのように活かすか具体的に記入しています。



【「本人のコメント」作成例】
　活動をとおして発揮できた特性は、実行力・責任感です。自分の役割を意識しながら、どの活動にも粘り強く向き合うことができました。ただ、課題解決に向けた同じチームのメンバーとの話し合いは十分にできていなかったため、自分と相手の意見をすり合わせた上で、物事に取り組んで行くことが今後の課題です。
　課題解決に向けて情報収集をして、アプローチ方法を立案、実施することは得意なので、データ収集や分析をする仕事に活かしていきたいと考えています。

7　「活動関係者の主なコメント」欄には、「本人のコメント」を裏付ける内容を記載することを予定しています。その際には過去の「ボランティア活動報告書」の「活動に対するコメント」欄から引用することになります。

8　「総括ボランティア報告書」への指導に際しては、特に上記６、７の項目に関して普段から生徒・学生を指導している視点から、より本人の特性がアピールできるように記入内容に関するご指導を頂けると幸いです。

ボランティア活動報告書・総括ボランティア活動報告書の活用イメージ①

高校生の大学入試場面

※ボランティア活動関係者
本人と直接関わったボランティア活動の受益者またはボランティア活動を現地で統率する人

高校生徒本人	ボランティア活動関係者	高校	大学
①ボランティア活動報告書の書式を入手。「ボランティア活動報告書の手引き（高校生・大学生用）」を確認。 ・さわやか福祉財団HP参照		①「ボランティア活動報告書の利活用に向けて」を確認。 ・さわやか福祉財団HP参照	①「総括ボランティア活動報告書の見方」を確認。 ・さわやか福祉財団HP参照
②ボランティアの募集に応募する。または、ボランティア活動を企画する。 ・地域のボランティアセンター ・学校のボランティア窓口等	①ボランティア参加者を受け入れる。		
③ボランティア報告書に氏名、活動内容、活動の動機・目的を記入する。			
④ボランティア活動報告書と「ボランティア活動報告書の手引き（活動関係者用）」をボランティア活動関係者に提示して、協力を依頼する。	②ボランティア活動報告書の内容を確認する。「ボランティア活動報告書の手引き（活動関係者用）」を確認。		
⑤ボランティア活動を行う。	③ボランティア活動の様子を見守る。		
⑥活動から得たものを記入し、活動で育った特性に〇をつけ、活動先へボランティア活動報告書を提出する。	④活動関係者が感じた特性欄に〇をつけ、活動関係者記入欄に記入をして、本人に渡す。		
⑦①～⑥を繰り返し、経験を積み重ねる。			
⑧過去の活動を総括ボランティア報告書にまとめる。所属高校に提出をして、調査書にボランティア活動について記載してもらう。		②必要があれば、受け取った総括ボランティア報告書への指導と報告書の内容を要約して調査書へ記入をし、本人に渡す。	②入学試験要項の発表
⑨入学を希望する大学へ他の出願書類と共に総括ボランティア活動報告書と必要に応じて、ボランティア活動報告書を提出。			③他の出願書類と一緒に統括ボランティア活動報告書を（添付されている場合はボランティア活動報告書も）受け取る。

ボランティア活動報告書・総括ボランティア活動報告書の活用イメージ②

大学生の就職活動場面

※ボランティア活動関係者
本人と直接関わったボランティア活動の受益者またはボランティア活動を現地で統率する人

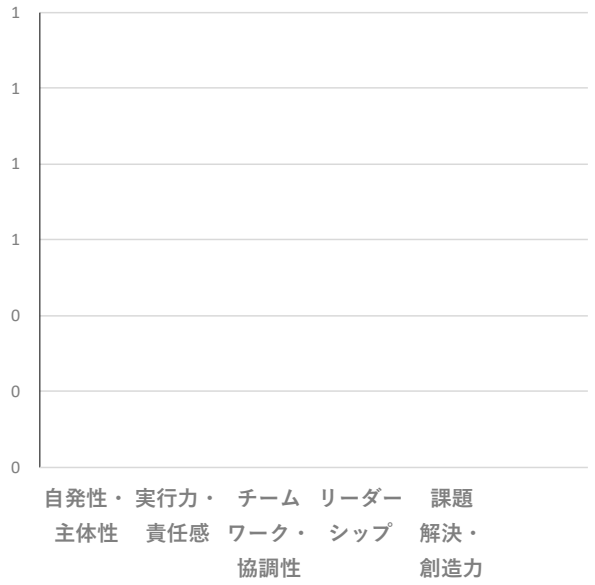
大学生本人	ボランティア活動関係者	大学	企業
①ボランティア活動報告書の書式を入手。「ボランティア活動報告書の手引き（大学・学生用）」を確認。 ・さわやか福祉財団HP参照		①「ボランティア活動報告書の利活用に向けて」を確認する。 ・さわやか福祉財団HP参照	①「総括ボランティア活動報告書の見方」を確認する。 ・さわやか福祉財団HP参照
②ボランティアの募集に応募する。または、ボランティア活動を企画する。 ・地域のボランティアセンター ・学校のボランティア窓口等	①ボランティア参加者を受け入れる。		
③ボランティア報告書に氏名・活動内容・活動の動機・目的を記入する。			
④ボランティア活動報告書と「ボランティア活動報告書の手引き（活動関係者用）」をボランティア活動関係者に提示して、協力を依頼する。	②ボランティア活動報告書の内容を確認する。 「ボランティア活動報告書の手引き（活動関係者用）」を確認する。		
⑤ボランティア活動を行う。	③ボランティア活動の様子を見守る。		
⑥活動から得たものを記入し、活動で育った特性に〇をつけ、活動先へボランティア活動報告書を提出する。	④活動関係者が感じた特性欄に〇をつけ、活動関係者記入欄に記入をして、本人に渡す。		
⑦①～⑥を繰り返し、経験を積み重ねる。			
⑧過去の活動を総括ボランティア活動報告書にまとめる。所属大学の就職支援窓口に提示して、履歴書への記入方法を検討する。		②必要があれば、提示された総括ボランティア活動報告書等から履歴書への記入を指導する。	②募集要項（新卒者用）発表
⑨就職を希望する企業へ履歴書等を提出する際に、自己PR書類として、総括ボランティア活動報告書と必要に応じて、ボランティア活動報告書を提出する。			③履歴書と一緒に統括ボランティア活動報告書を（添付されている場合はボランティア活動報告書も）受け取る。

年　　月　　日

様

学校名　　氏名

総 括 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 報 告 書

累計活動報告書数	件	累計活動報告書期間	~
多い活動分野	①　　(件)		
	②　　(件)		
	③　　(件)		
特　性	活動関係者がマークした特性		
自発性・主体性	件		
実行力・責任感	件		
チームワーク・協調性	件		
リーダーシップ	件		
課題解決・創造力	件		
	件		
本人のコメント （活動で成長したと思う特性など）			
活動関係者の主なコメント			

様式作成 公益財団法人 さわやか福祉財団

年　　月　　日

提出先となる大学・企業等を記入する　　様

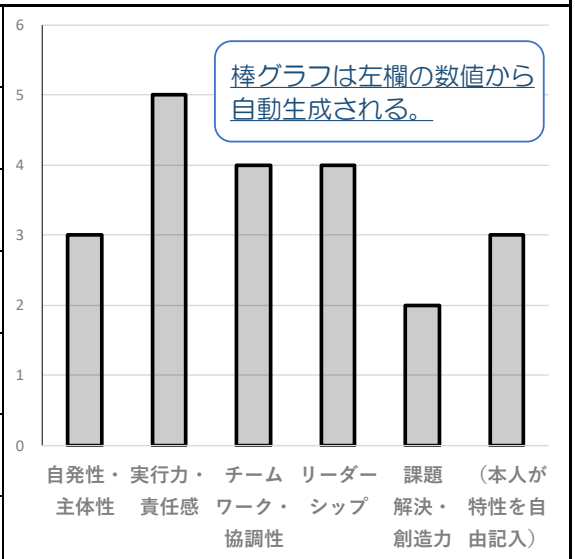
学校名　　氏名　学生本人の氏名を記入する

総括ボランティア活動報告書　【記入要領】

累計活動報告書数	参加した活動（地域、プロジェクト、団体等）の「ボランティア活動報告書」の合計数を記入する。	累計活動報告書期間	すべての報告書に関わった期間を記入する。【例】令和３年6月1日～令和５年2月6日

多い活動分野	関わった活動分野の上位３位の件数を①～③に記入する。 （活動分野は下記例示を参照） 【活動分野の例】 子どものサポート・学習支援、高齢者のサポート、障害者のサポート、外国人のサポート、被災者のサポート、施設・病院ボランティア、各種スポーツ指導、観光案内、異文化交流、人権擁護・ジェンダー、まちづくり、防犯・交通安全、伝統文化の継承、動物の保護、環境保護、清掃活動、農林水産業振興、政策提言、その他

特　性	活動関係者がマークした特性	
自発性・主体性	「ボランティア活動報告書」で「○」がついた活動の数を記入する。	件
実行力・責任感		件
チームワーク・協調性		件
リーダーシップ		件
課題解決・創造力		件
（本人が特性を自由記入）		件



本人のコメント （活動で成長したと思う特性など）	「活動関係者がマークした特性」の累計数グラフを基に、活動で成長したと思う特性と、今後その特性をどのように活かすか具体的に記入する。
活動関係者の主なコメント	「本人のコメント」を裏付ける内容を記載する。その際には過去の「ボランティア活動報告書」の「活動に対するコメント」欄から引用して記入する。

様式作成　公益財団法人 さわやか福祉財団

ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 報 告 書

本人記入欄	氏名				
	活動内容	活動期間	～	活動地域	
		（活動分野：　　）			
	活動の動機・目的				
	活動から得たもの				

活 動 で 育 っ た 特 性	本人が育ったと感じた特性	活動関係者が感じた特性
自分から進んで取り組んでいる　（自発性・主体性）		
最後までやり抜く　（実行力・責任感）		
人と協調しながら取り組んでいる　（チームワーク・協調性）		
チームをリードして取り組んでいる　（リーダーシップ）		
工夫して、全体の作業を改善している　（課題解決・創造力）		
（本人が特性を自由記入）		

活動関係者記入欄	活動に対するコメント （素晴らしいと感じた点、今後伸ばしてほしいと感じた点　など）	
	記入された方のお名前	
	記入された方のお立場	
	記入日	年　　月　　日

様式作成　公益財団法人 さわやか福祉財団

ボランティア活動報告書　【記入要領】

①本人が記入する

本人記入欄					
	氏名				
	活動内容	活動期間	～	活動地域	（都道府県名・市区町村名）
		・活動期間は、評価を記入する活動関係者（本人と直接関わったボランティア活動の受益者またはボランティア活動を現地で統率する人）がボランティア活動を見守った期間とする。 通常は１日から１週間程度の期間が想定されるが、長期（１か月以上）の活動期間になる場合は、１か月ごとに区切って報告書を作成し、記録と振り返りを適宜行う。			
		【活動分野の例】 子どものサポート・学習支援、高齢者のサポート、障害者のサポート、外国人のサポート、被災者のサポート、施設・病院ボランティア、各種スポーツ指導、観光案内、異文化交流、人権擁護・ジェンダー、まちづくり、防犯・交通安全、伝統文化の継承、動物の保護、環境保護、清掃活動、農林水産業振興、政策提言、その他			
		（活動分野：　　）			
	活動の動機・目的	・なぜこの活動に参加しようと思ったのかという理由と、自分がこの活動をとおして活かしたい、育てたい特性や獲得したいものを記入する。			
	活動から得たもの	・活動の経験をとおして、何に気づいたか、どこが成長したかを記入する。 ・可能であれば、活動の経験を今後どのように活かすかを記入する。			

②本人と活動関係者がそれぞれ記入する

活動で育った特性		本人が育ったと感じた特性	活動関係者が感じた特性
自分から進んで取り組んでいる	（自発性・主体性）		
最後までやり抜く	（実行力・責任感）		
人と協調しながら取り組んでいる	（チームワーク・協調性）		
チームをリードして取り組んでいる	（リーダーシップ）		
工夫して、全体の作業を改善している	（課題解決・創造力）		
（本人が特性を自由記入）			

該当する特性にマーク（〇印等。紙媒体の場合は署名や印鑑でもよい）を付ける

←上記の特性以外で育った特筆すべき特性がある場合に記入
（例：伝える力、観察力、体力、専門的な知識・技能、等）

③活動関係者が記入する

活動関係者記入欄		
	活動に対するコメント （素晴らしいと感じた点、今後伸ばしてほしいと感じた点　など）	・活動関係者が活動を通じて学生を見た結果、素晴らしいと感じた点、今後伸ばしてほしいと感じた点などのコメントを自由記述する。
	記入された方のお名前	印
	記入された方のお立場	・記入者が団体又は活動においてどのようなお立場にあるかを記入する（被災者、ボランティア活動の現地統率者など）
	記入日	年　　月　　日

様式作成　公益財団法人 さわやか福祉財団

MEMO

公益財団法人
さわやか福祉財団

ボランティア活動報告書の利活用に向けて
（高校・大学　進学・就職担当用）
令和３年　11月発行
編　者　公益財団法人　さわやか福祉財団
「学生の地域活動研究会」協力・監修
発行所　公益財団法人　さわやか福祉財団
〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館 7階
TEL: 03(5470)7751
FAX: 03(5470)7755
URL: https://www.sawayakazaidan.or.jp/